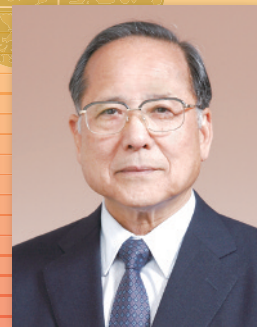


「今こそ医師の団結を」

会 長 長 瀬 清



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、ご家族の皆様と共に健やかに佳いお年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。常日頃、医師会の活動にご助力、ご支援いただきありがとうございます。

北海道医師会は昨年4月、法人制度改革に伴い一般社団法人に変わりました。公益社団法人か一般社団法人かを検討し非営利の一般社団法人化を選択しました。しかし、設立当初の理念に変わりはなく、これまで通り国民皆保険制度を守り、安全、安心な医療を目指して参ります。昨年、問題になった日本医師会と日本医学会の関係や日本学術会議の提言から考えて、学術団体としても、医療提供者集団としても、日本唯一の組織として一致団結して強い組織にしなければなりません。全員加盟が理想です。

医師会が抱える問題は山積しています。医師不足と偏在による地域医療の崩壊解決が最たるものです。これに対しては、行政、医育大学、関連他団体と医師会の総力を挙げて取り組んでいます。言うに易く、行い難しでなかなか光明が見えません。机上で考えると簡単にできそうですが、実際行うのは非常に難しいことです。救急特に夜間の救急、遠隔地の医療対応、勤務医師の勤務環境整備、女性医師支援事業、住民啓発運動、医学生・研修医との対話、青少年育成事業等々に取り組んでいます。

現在進行形の少子高齢社会に対処するためには、医療・介護の連携による包括ケアシステム構築が避けられません。また医療提供体制の変化が求められます。医療機関はどういう方向性を選択するか決めなければなりません。

一昨年暮れの総選挙で、自民党が圧勝、3年に及ぶ民主党政権が崩壊し、再び自民党が政権に復しました。

昨年正月早々より、安倍内閣はデフレ脱却、経済の活性化に向けて次々と政策を打ち出しました。第1の矢、第2の矢、そして第3の矢と経済成長路線をひた走りしました。かつてのバブル経済時代のような生活力向上の実感は感じられませんが、徐々に経済が上向いて来ています。23年の大災害の復興や、被害を受けた原子力発電所の後始末があまり進まず問題化しながらも、まっしぐらに経済成長路線を突っ走っています。経済財政諮問会議は小泉内閣の新自由主義、市場原理主義路線の復活と言われます。民主党政権下で決定したとはいえ、社会保障制

度と税一体改革は、消費税率アップが先行決定し、国民の貧富格差が増すことが懸念されます。

経済成長路線を強調するあまり、TPPへの参画を推進し日本本来の食文化や世界に誇る医療制度を破壊することが心配されています。常々これらに対する米国の執拗な要求、圧力があったことから、避け得ない状況と感じられます。

昨年7月に行われた参議院議員選挙では、羽生田俊日本医師会副会長をたて、組織内候補として支援し当選させました。医療が経済活性化の道具にされようとしているのに楔を打ち込まなければなりません。間違った方向に進まないよう頑張ってもらわなければなりません。

今、26年度の国家予算編成、医療においては今年行われる診療報酬の改定が急ピッチで進められています。民主党政権下で行われた2度の改定ではわずかとはいえ共にプラス改定となっています。自民党に変わりどのような結果になるか注目されるのですが、官僚の復権特に財務官僚の台頭が著しく気がかりです。財務相は例年のごとく診療報酬はマイナス改定と声を上げています。賃金の上昇を求める政府の言うように、医療・介護の現場でも賃上げ可能な改定率アップをして欲しいものです。

多くの識者や国民の反対を押し切り、特定秘密保護法が成立し、過去の戦争の暗い影が懸念されています。

他方暗い話題ばかりではなく、6年後には東京オリンピックの開催が決まりこれから数年は話題に事欠きません。今年ロシアで開催される冬季オリンピック・ソチ大会では、スキー・ジャンプやフィギュアでの日本選手の活躍が世界を湧かせることでしょう。

新生北海道医師会も年を重ねて66周年、旧内務省令下で設立後創基100年を超えました。一世紀の歴史は軽くありません。ますます発展し医学医療の進歩に則した安全・安心の医療を広く国民に提供できるように、医療集団の要になりたいと思います。

北海道医師会は組織も変わり、心新たに医師会の発展を期していく覚悟で邁進します。皆様方のご支援をお願い申し上げます。

会員皆様はこの一年のご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。

CONTENTS

北海道医報
平成26年1月1日 第1144号

年頭の辞／「今こそ医師の団結を」	長瀬 清	2
年頭所感	横倉 義武	4
年頭所感	高橋はるみ	5
年頭にあたって	高田 久	6
医の倫理綱領		8
郡市医師会長プロフィール		9
生涯教育シリーズXX／睡眠時無呼吸症候群	山本 泰司	10
報告／地域医療に関わる地域別意見交換会	伊藤 利道	12
報告／公明党北海道本部政策懇談会	笹本 洋一	14
報告／平成25年度 患者接遇に関する研修会	岡部 實裕	15
報告／国民医療を守るための国民運動	三戸 和昭、笹本 洋一	16
日本医師会綱領		19
報告／平成25年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	藤井 美穂	20
報告／「医学生・研修医と語る会」	藤井 美穂	23
報告／第93回北海道医学大会総会	渡邊 直樹	26
第40回 全道医家囲碁大会		42
税務相談室／医療法人の役員退職金等	中村 孝一	45
最新・医事紛争Q & A／医院閉院後の法律問題	黒木 俊郎、武市 尚子	46
北海道医歌人会詠草		48
特集／新春随想		49
新規指定医療機関		73
ポラリスを仰ぐ北の大地から	永井 文作、坪 俊輔	74
大通公園を望む窓辺から	後藤 聰、古屋 聖兒	75
医学会・医学講演会等 開催情報		76
中央76 道南80 後志80 日胆81 空知81 道北82 北見83 道東83		
その他開催情報		84
計報		85
会議室／第16・17回 常任理事会		86
道医の動き		93
日医認定産業医制度研修会開催一覧		94
売貸医院・医師招聘情報		96
道医師国保の頁		100
季節風／《自然の恵み》と在宅医療	橋本 洋一	110

お知らせ

北海道医師会サポートセンターのご利用について⑨／電子メールによる会員への情報提供⑪

第48回北海道ドクターズゴルフ大会開催のお知らせ（予告）⑧5

「高齢者の交通事故防止対策」へのご協力について（お願い）⑨5

北海道医報へのご投稿等について⑨9／グループ保険のご案内⑩9

北海道医師会会員数	8,313名 (+4)	うち日本医師会会員数	5,913名 (+14)		
A	2,531名 (-1)	B2	4,543名 (+6)	C2	163名 (-1)
B1	588名 (±0)	C1	115名 (±0)	C3	373名 (±0)

平成25年11月30日現在 () 内前月比

作品紹介

きたおか ふみお

北岡 文雄 冬の支笏湖

1918（大正7）年～2007（平成19）年

東京生まれ。

1971（昭和46）年の作品。木版・紙(47.8×63.6cm)。

東京美術学校（現東京芸術大学）の油彩画科に入学。創作版画運動の先駆者・平塚運一と出会う。

卒業後、油彩を描くかわら、平塚運一主催の「きつつき会」に参加。版画の制作も続け、1943年に日本版画協会会員となる。

1955年から2年間、パリの美術学校「エコール・デ・ボザール」で木版を学んだ。

ル」で木版を学んだ。

帰国後は、妻の実家がある札幌で活躍。全道美術協会の会員になり、北海道版画協会の前身である札幌版画協会設立に尽力、北海道と深いゆかりをもった。

1964年、アメリカに約1年滞在した後、写実性と装飾性を織りまぜた風土色豊かな風景版画を確立。国内外を精力的に回り、数多くの風景版画を制作した。

◇ ◇ ◇

画面手前の黄色い木片が、雪に覆われた北海道の冬を、色味豊かに表現している。凍てつくような寒さの中に、大自然ならではの穏やかさが垣間見える。

北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館

（札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881）